



本社・工場

第58期

第2四半期決算のご報告

平成21年8月21日～平成22年2月20日



 福島印刷株式会社

〒920-0357 金沢市佐奇森町ル6番地
TEL(076)267-5111(代) FAX(076)267-8065
URL <http://www.fuku.co.jp/>



C906

Communication Agent for Market Driven

私たちは常にお客様と同じ視点に立ち、
エンドユーザーである「市場」を見つめながら
情報発信をお手伝いするパートナーとして、
存在価値を発揮してまいります。
そして、コミュニケーションの背後に生まれる
『長期信頼』を果敢に追い求めます。

福島印刷株式会社

証券コード 7870



ふくしまみちお
代表取締役社長 福島理夫

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、第58期第2四半期(平成21年8月21日から平成22年2月20日まで)の営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米国発の世界的な金融危機を背景とした景気後退の影響を受けるなか、一部に回復傾向が見られたものの雇用の減少には歯止めがかからず、個人消費も引き続き低迷しており、先行きが不透明なまま推移しました。

印刷業界におきましては、企業業績の悪化による広告宣伝費や事務用消耗品費の抑制、IT化による需要量の減少、原材料価格の高止まりの影響を受け、経営環境は厳しい状況が続きました。

このような状況の中で、当社はビジネスフォーム及びDP(データプリント)サービスの製品開発やサービスの充実に取り組み、得意先の販促告知や事務通知業務において、総合的な企画提案型の営業活動を推進してきました。また、デザイン版面と通知データを同時印刷するフル

カラーDPにより、事前印刷用紙を必要としない郵便はがきトータル発行サービスである「ラテックスパック」の販売促進に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は25億41百万円(前年同期比 0.2%増)、営業損失は29百万円(前年同期は営業損失57百万円)、経常損失は38百万円(前年同期は経常損失65百万円)、四半期純損失は54百万円(前年同期は四半期純損失1億8百万円)となりました。

今後の見通しにつきましては、政府の経済対策の効果により、一部に景気回復の兆しが見られるものの、雇用環境や個人消費が冷え込むなど、不安定要素が多く、予断を許さない状況が続くものと考えられます。

また、印刷業界におきましても、需要低迷、競争激化、与信不安の増大など、引き続き厳しい経営環境が続くものと予想されます。

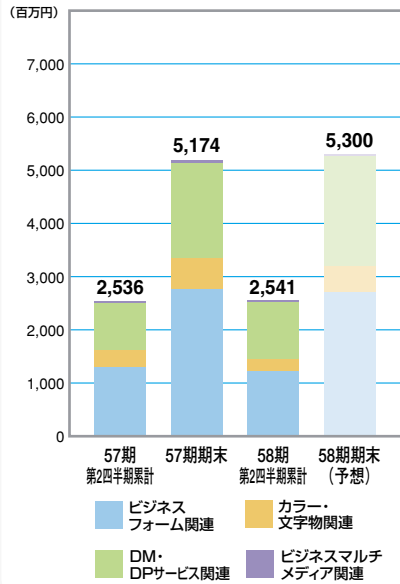
このような環境下にあって当社は、「ラテックスパック」を始めとする独自製品の開発・拡販、企画提案型営業の強化、生

産効率の向上、利益管理体制の拡充を図り、業績向上に向けて全力で取り組んでまいります。

なお、中間配当金につきましては、平成22年3月30日開催の取締役会において、1株当たり4円と決議しております。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

製品別売上高



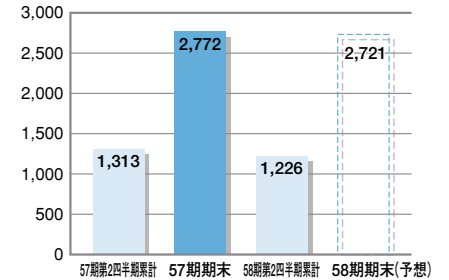
ビジネスフォーム関連

- 複写伝票などの帳票類
- 事務通信
- 情報保護はがき など



ビジネスフォーム関連は、事務通信DPサービスが比較的順調に推移したものの、帳票類は企業のIT化進展に加えコスト削減による需要量の減少などにより、全体として減少しました。売上高は前年同期を86百万円(6.6%)下回る12億26百万円となりました。

売上高(単位:百万円)



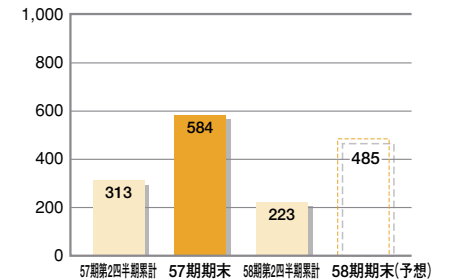
カラー・文字物関連

- 会社案内など広報系印刷物
- カタログなど販促系印刷物
- その他文字物印刷物 など



カラー・文字物関連は、企業の広告宣伝費予算の抑制や価格競争の激化等による受注環境の悪化により苦戦を強いられました。売上高は前年同期を89百万円(28.7%)下回る2億23百万円となりました。

売上高(単位:百万円)



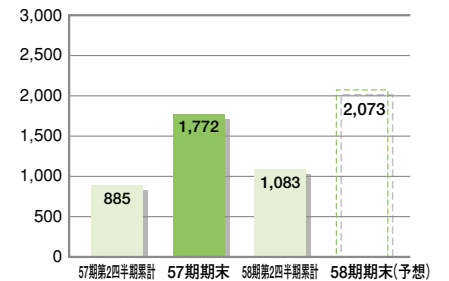
DM・DPサービス関連

- はがき型ダイレクトメール
- 冊子型ダイレクトメール
- ワン・トゥ・ワンデータプリントなど



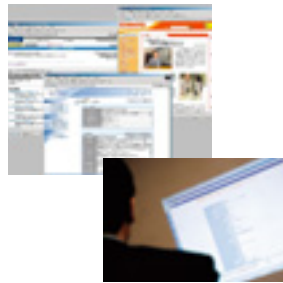
DM・DPサービス関連は、プライバシー保護対応の「あと糊タイプはがきDM」、「UD(ユニバーサルデザイン)メール」、新製品の「ラテックスパック」等の販売が好調で、また、お客様のお預かりデータを印刷物に出力するDPサービス業務も順調に推移しました。売上高は前年同期を1億97百万円(22.3%)上回る10億83百万円となりました。

売上高(単位:百万円)



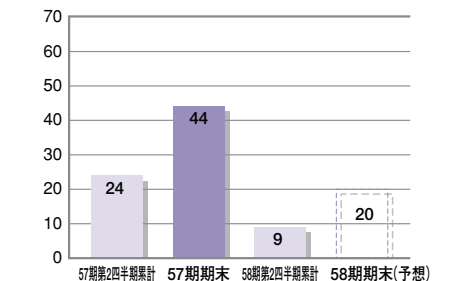
ビジネスマルチメディア関連

- ホームページ
- データベース など



ビジネスマルチメディア関連は、電子カタログ等商品DB(データベース)制作、ホームページ制作等Web関連製品の企画提案活動を展開したものの、売上高は前年同期を15百万円(61.6%)下回る9百万円となりました。

売上高(単位:百万円)



福島印刷の

4分野 シナジー業態

当社はビジネスフォーム(コンピュータ用連続帳票類)を基点に、カラー印刷、ダイレクトメール、事務通信、ビジネスマルチメディアへと事業分野を拡大してまいりました。この4分野の相乗効果により、当社だからこそできる独自性(＝ならでは)を追求しております。

福島印刷「ならでは」の取り組み

■ 帳票の計画生産 ～給与明細書編～ コストダウンをお客様に還元

帳票は受注生産品であるため、1点ごとに納期設定をして生産していました。そこで、同一工程で加工される製品を、受注履歴を基にお客様と調整を図りながら事前に定めた日程の中で、まとめて加工する生産方式を導入しました。帳票には様々な仕様がありますが、中でも給与明細書をはじめとする袋状の仕様においては、糊加工・ミシン加工が複雑なため、まとめて投入することで加工準備に必要な時間が大幅に削減されます。また、ここでのコストダウンはお客様にも還元しており、経費削減において一体感を感じられるサービスであるとの評価もいただいています。



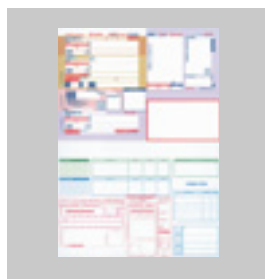
■ 帳票のプロセスカラー印刷 環境への取り組み

帳票はカタログ等のようにフルカラー印刷される印刷物と違って、通常1色か2色で印刷されます。色を個別で指定された帳票オーダーを毎日多数取り扱う印刷現場では、指定色ごとにインキ交換(色替え)をしています。これに対し当社では、フルカラー(プロセスカラー)印刷により指定色を再現することで、インキ交換のムダを削減する生産方法の確立にトライしています。この取り組みにより、これまで発生していた印刷の準備用紙や印刷後のインキ残肉を大幅に削減することが可能になります。また、帳票の使用色数を増やしても同一の価格で提供できるため、帳票の「書きやすさ」「わかりやすさ」をお客様と一緒にさらに追求できるサービスに育てたいと考えています。



■ ピッキング送り状 ページプリンタ対応多機能帳票

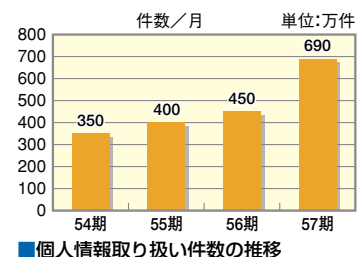
通信販売業界をはじめとして日々大量に商品を送送される得意先では、常に生産性向上とミス防止が求められており、商品と内容明細・送り状のマッチングミスのない業務フローの構築が課題となっています。ここで紹介する帳票は、商品の出荷業務に必要な内容明細と送り状を一体化し、ピッキング作業指示としても使用できるソリューションとして普及が始まったピッキング送り状複合帳票です。また、送り状としてのタック紙機能も付加されており、これを高速のページプリンタにて出力する品質安定も要求され、当社の高い複合帳票生産技術が活かされる印刷物となっています。今後、ロジスティクス高度化の中で出荷物流等でもお役立ち場面を増やしたいと考えています。



DPサービス分野の成長

当社における一ヶ月の個人情報取り扱い件数が、この4年間で約2倍に増加し、お客様から個人情報をお預かりして加工するDPサービス分野が大きく成長しています。そのため、組織および工場内の取り扱いエリアの拡張も進んでおり、2010年2月には、データ処理を行うDW室の拡張工事が完了しました。

新DW室には新たに入退室管理のためのセンサーを追加で設置し、新DW室を含むIT室の入口には監視カメラを設置するなど、セキュリティ体制もより一層の強化を図っています。



■新DW室

福島印刷の特許戦略と保有特許

福島印刷では特許制度の本来の目的を「社会に貢献する新技術の開発を促進すること」と捉え、今まで市場になかったものを社会に送り出すことは、製造業としての本質的な社会貢献と考えています。市場創造、価値の提案を通じて競争力を磨き、かつ利益を生みだすことができる企業として進化し続けることを目指しています。その手段の一端が特許、意匠などの権利取得と考えています。

■特許4154650号 発明の名称「情報記録紙および製造方法」

事務通信用、広告用ハガキなどで使用し、通常の状態では接着せず、加圧により剥離可能な接着力を有するものです。従来よりも水濡れの影響を受けにくくなります。

■特許4284297号 発明の名称「プリンタ用紙」

プリンタにかかるA4近似サイズで2種類の用紙を使用し、全面貼り合わせした構造を持っています。そして、その中に情報保護ハガキを組み込んでいます。

■特許4426897号 発明の名称「隠蔽葉書」

全面積層化することで剥離紙の段差をなくし、給紙・搬送・印字障害を防止しています。開封したことが分かるように、開封時、部分的にミシンで破れる構造を持っています。

■特許4452929号 発明の名称「印刷用電子文書作成システム及び方法」

可変の印刷用文書ファイル(PDF)から、それとは独立した別の制御ファイルを使って、名寄せ(グループ化)や並べ替えといったお客様が望まれる形、順番に印字用データを生成するシステムです。



■ 四半期貸借対照表

(平成22年2月20日現在)

科目	当第2四半期 会計期間末	前事業年度末
【資産の部】		
流動資産	1,919,883	1,991,478
現金及び預金	451,733	488,680
受取手形及び売掛金	1,110,601	1,100,783
製品	92,508	95,720
半製品	23,814	22,878
仕掛品	90,655	58,841
原材料及び貯蔵品	81,489	65,963
繰延税金資産	55,472	57,223
その他	13,939	101,716
貸倒引当金	△ 333	△ 330
固定資産	4,422,393	4,549,152
有形固定資産	4,128,103	4,306,122
建物	1,738,518	1,781,662
機械及び装置	889,493	991,205
土地	965,106	965,106
その他	534,984	568,148
無形固定資産	88,397	25,768
投資その他の資産	205,892	217,261
投資有価証券	76,055	80,409
その他	136,965	143,692
貸倒引当金	△ 7,128	△ 6,840
資産合計	6,342,276	6,540,630

単位:千円

科目	当第2四半期 会計期間末	前事業年度末
【負債の部】		
流動負債	1,486,291	1,470,937
買掛金	197,703	157,869
短期借入金	470,000	520,000
1年内返済予定の長期借入金	355,920	355,920
未払法人税等	6,016	1,093
賞与引当金	50,183	65,809
役員賞与引当金	600	1,000
その他	405,867	369,244
固定負債	1,324,602	1,469,640
長期借入金	733,540	911,500
退職給付引当金	30,125	6,832
繰延税金負債	34,460	41,267
役員退職慰労引当金	51,880	56,200
その他	474,596	453,841
負債合計	2,810,893	2,940,577
【純資産の部】		
株主資本	3,531,241	3,609,756
資本金	460,000	460,000
資本剰余金	285,200	285,200
利益剰余金	2,786,063	2,864,579
自己株式	△ 22	△ 22
評価・換算差額等	141	△ 9,703
その他有価証券評価差額金	141	△ 9,703
純資産合計	3,531,382	3,600,053
負債純資産合計	6,342,276	6,540,630

(記載金額は千円未満切捨)

■ 四半期損益計算書

(平成21年8月21日から平成22年2月20日まで) 単位:千円

科目	当第2四半期 累計期間	前第2四半期 累計期間
売上高	2,541,988	2,536,214
売上原価	1,938,259	1,964,630
売上総利益	603,728	571,583
販売費及び一般管理費	633,473	629,356
営業損失(△)	△ 29,744	△ 57,772
営業外収益	10,631	8,869
受取利息	297	500
受取配当金	655	698
作業くず売却益	1,338	3,685
助成金収入	3,664	—
その他	4,676	3,984
営業外費用	18,962	16,398
支払利息	18,962	16,271
その他	—	127
経常損失(△)	△ 38,074	△ 65,302
特別利益	—	—
特別損失	27,991	29,516
固定資産除却損	195	173
固定資産取壊費用	1,950	—
投資有価証券評価損	25,846	29,342
税引前四半期純損失(△)	△ 66,066	△ 94,818
法人税、住民税及び事業税	1,204	4,541
法人税等調整額	△ 12,755	8,751
四半期純損失(△)	△ 54,515	△ 108,110

(記載金額は千円未満切捨)

■ 四半期キャッシュ・フロー計算書

(平成21年8月21日から平成22年2月20日まで) 単位:千円

科目	当第2四半期 累計期間	前第2四半期 累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	309,243	64,710
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,606	△ 129,862
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 306,316	△ 167,737
現金及び現金同等物の増減額	10,532	△ 232,888
現金及び現金同等物の期首残高	365,660	617,383
現金及び現金同等物の 四半期末残高	376,193	384,495

(記載金額は千円未満切捨)



(前列左より) 下島、福島、館
(後列左より) 戸田、古林、松谷、岩木

■ 役員 (平成22年4月30日現在)

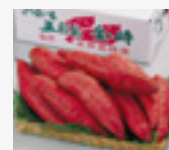
代表取締役社長	福島 理夫	取締役	古林 孝之
専務取締役	下島 学	取締役	戸田 綾一
常務取締役	館 芳昭	常勤監査役	松谷 裕
		監査役	岩木 弘勝

■ 会社の概要

商号	福島印刷株式会社
英文名	FUKUSHIMA PRINTING CO.,LTD.
本店所在地	〒920-0357 金沢市佐奇森町ル6番地 TEL (076)267-5111(代)
設立	昭和27年9月10日
資本金	4億6,000万円
従業員数	381名
事業所	本社及び工場 金沢市佐奇森町ル6番地 東京営業部 東京都中央区日本橋本町4丁目5番14号 入江ビル6F 富山営業所 富山市上袋715番地1 福井営業所 福井市問屋町3丁目811番地 大阪営業所 大阪市中央区平野町3丁目3番8号 辻梅ビル3F 名古屋営業所 名古屋市中区金山1丁目2番2号 クマダ第2ビル5F

事業年度	8月21日から翌年8月20日まで
定時株主総会	11月
基準日	定時株主総会 8月20日 期末配当 8月20日 中間配当 2月20日 その他必要があるときは、予め公告して定めた日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。 ●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。 ●未払配当金の支払について 株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
単元株式数	100株
上場証券取引所	名古屋証券取引所
公告方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.fuku.co.jp/) に掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法とします。
株主優待制度	8月20日基準日現在1,000株以上の株主を対象に、自社指定の株主優待を、ご希望に応じてお選びいただけます。

平成21年優待品



金沢五郎島金時



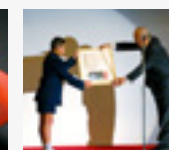
「四十萬谷本舗」
かぶら寿し



能登和牛すき焼き用肉



「金澤鳥鶏庵」
烏骨鶏かすていら



ざぶん賞へ寄付